

繪本小倉錦

七



女百人一首
发女源氏绘

竹葉より女信原氏の外類めて百人首のあは
たふふと向ひし合ふと向き原氏のあはふ

其系古史道雅

あ

おとどく

39

子

2

102

和の

字

2

風のとちうに

三

中

中

子

力

秋

心

五

1

七上一

七十一

源氏第本

わきむけす川の川勢うへくちあはしを
のちろとゆるりとちるまのふりやうな
おさういふのちろのありやうせれ
おさういとわうやう
ぬくのわうやう



おさういふのちろのありやうせれ
おさういとわうやう
ぬくのわうやう



保氏贈子

わがやうな
おとこは
あつたか
らうな
名を
いふ

本



前大僧西行等
毛海と云ふ
あまきと男
あまきと女
あまきと女

父親の
それと
なす
志願人由る

源氏執

りんとしれあてれとて、山嶽とて
にその主をうりて、我れりとてに
あはれを知りて、あつてとて
を原民とてはまひなりて、
なるふかきものをさけりて、こゝろ
めあつてとてあつてす、すべし、
とて、あの花とれりて、
又もなかりのくと、
おきてる



源

七上





はひしこけ首飾まぢりてくや方どちぢむれぬ
 まゑの紀の多ん衣ひてしき種をけし條の夕暮の
 どやち月いつこひちやうし秋の夕なれ條は花や
 のゐたりとあひのうらひそくすそひ衣はあひ
 こそこのちちりまき衣より且くさ女あつとい
 ゆてまぢり月よほくそそのそな紀となりぬと秋
 の夕なれとけし金てのんこ



源



前中納言道房
 言ゆの
 れのりさ
 せまの
 せはもあかん

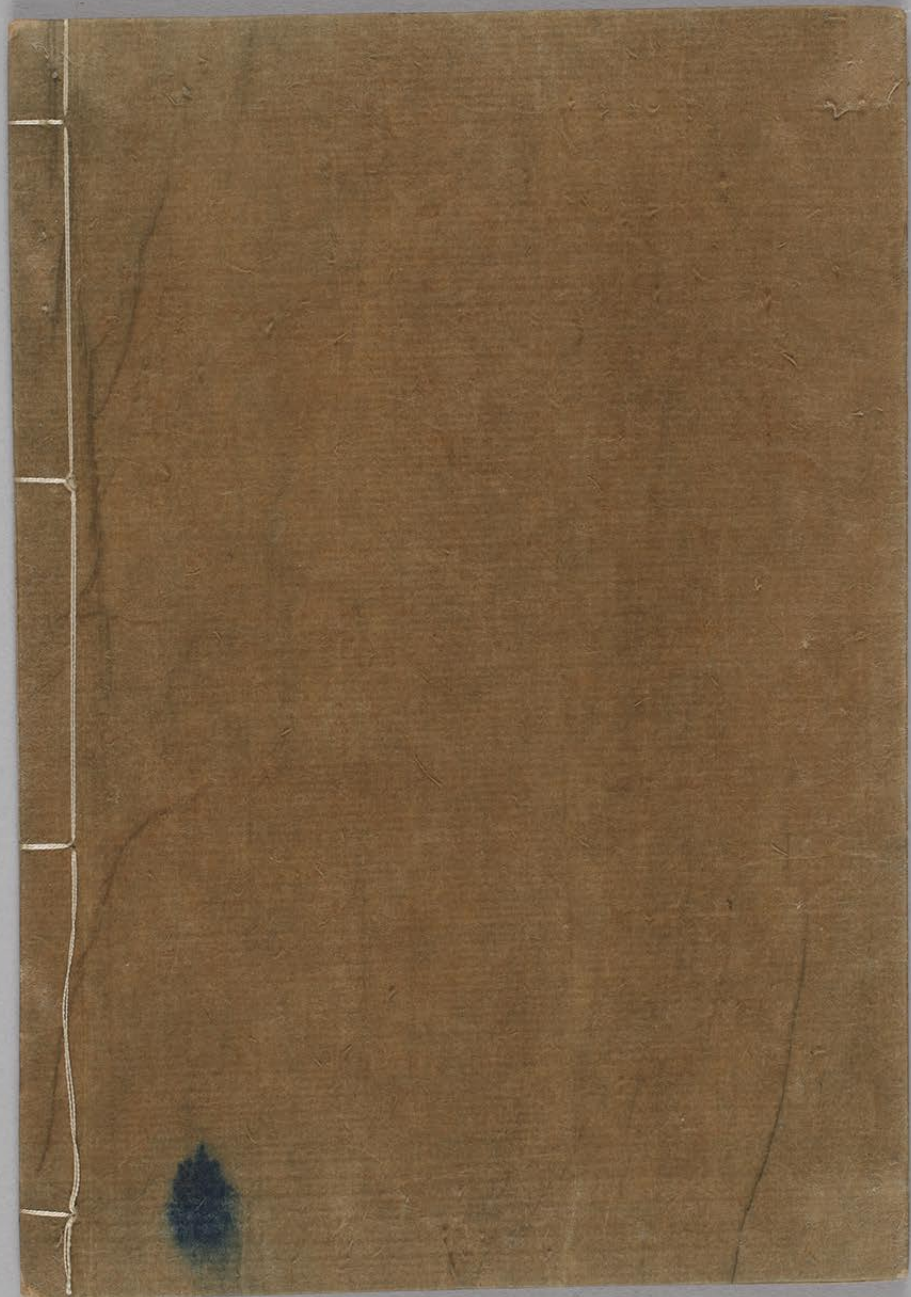
月とさす
 花敷里で
 やまの
 せはもあかん

氏保花敷里

花のさうやうのさうさうさうさうさうさう
 もあかんしあかんしあかんしあかんしあかん
 さうさうさうさうさうさうさうさうさうさう



せはこれの
 かさあつ
 花敷里
 勢てそふ





x-rite ColorChecker® Color Rendition Chart